

～安心して暮らせる地域社会をめざして～

## KSK じんかれんニュース

NO. 28 平成 28 年 12 月号

発行人/ KSK 神奈川県障害者定期刊行物協会

〒222-0035 横浜市港北区烏山町 1752 番地  
障害者スポーツ文化センター横浜ホール 3F  
横浜市車椅子の会内

編集人/ NPO 法人じんかれん

(神奈川県精神保健福祉家族会連合会)

〒233-0006 横浜市港南区芹が谷 2-5-2

神奈川県精神保健福祉センター内

TEL 045-821-8796 FAX 045-821-8469

e-Mail: [jinkaren@forest.ocn.ne.jp](mailto:jinkaren@forest.ocn.ne.jp)

HP:<http://www.geocities.jp/jinkarennet/>

定価 50 円 (会員は会費に購読料が含まれています)

### ◆NPO 法人じんかれん 50 周年記念大会 報告

平成 28 年 11 月 29 日 神奈川県民ホールで開催。参加詩やは 273 名でした

「第 1 部 式典」に引き続き、記念講演 (14:00~15:30) が開催されました。その報告です

講演 「人はなぜ病を得るのか～神話が明かす DNA (\*) のところ～」

講師 精神科医・分子生物学者 糸川 昌成氏

#### 1. 統合失調症患者の最近の分析結果

一部の統合失調症にカルボニルストレス (\*) が関連していることが明らかになってきており、統合失調症患者 45 名、健常者 61 名の AGE(\*) とビタミン B6 の測定を行い、その結果が以下のデータで示された。

統合失調症 45 名中 AGE 蓄積あり 21 名 (47%)、

健常者 61 名中 AGE 蓄積あり 2 名 (2.3%)

統合失調症 45 名中 B6 低下あり 26 名 (58%)

健常者 61 名中 B6 低下あり 7 名 (12%)

これから所定の計算をすると AGE 蓄積は統合失調症のリスクを 25 倍にし、ビタミン B6 の欠乏は統合失調症のリスクを 10 倍にすることが明らかにされた。

#### 酵素 GLOI の働き

GLOI は体内で作られ、カルボニル化合物を分解するはたらきがあり、AGE の産出を抑制する。

カルボニル化合物は内科領域ではよく知られていたが、精神科領域で最初に注目したのは糸川先生の研究グループ。

#### ビタミン B6 (ピリドキサミン) の働き

カルボニル化合物と結合し、これを腎臓から排出し、AGE の産出を抑制する。

#### \*用語解説

\*DNA 遺伝情報を含んでいるデオキシリボ核酸の頭文字を並べたもの

\*カルボニル化合物/ストレス、AGE

身体の中に酸素が入ると、身体を錆びさせるような毒が生じる。この錆はカルボニル化合物と呼ばれ、毒性が高い。カルボニル化合物はタンパク質を変質させ AGE（終末糖化産物）にしてしまう。

この AGE がたまってしまうカルボニル化合物が増加する状態をカルボニルストレスと呼ぶ。

## 2. 治療薬の開発

### ビタミン B6 の補充

症状が統合失調症類似のカルボニルストレス性統合失調症ではビタミン B6 の欠乏が見られた。ビタミン B6 は AGE の産出を抑制するので、ビタミン B6 の欠乏のあるカルボニルストレス性統合失調症の人へのビタミン B6 補充は症状改善が期待される。ビタミン B6 と言われるものは 3 種あるが、治療効果が期待できるのはアミノ基 (NH<sub>2</sub>) を持っているピリドキサミンです。これは薬局では売っていません。

### 新薬の開発経過と今後の予定

2007 年特許出願、2013 年特許取得

第 I 相試験（安全性、有効性試験のため健常者 24 人に投与） 終了

第 II 相試験 H23 年 10 月（医師主導型治験開始）

H24 年 10 月（医師主導試験完了）

### 第 III 相試験

某企業と契約成立により、

II 相後期試験（2016-2017）が可能になった。

第 III 相試験は 2018-2019

承認申請予定 2019-2020

掲載の講演内容は、難解なため英語翻訳でいうところの意識になっています。ただし講演で使われたデータはそのままの掲載です。また、講演後半は全体の半分以上の時間を占め、遺伝子からみた古代の人類移動、各国の神話、縄文人と弥生人、日本語の特徴と歴史的背景等々多岐にわたる、興味深い内容でしたが、各項目 2 分ほどで網羅されていきました。

執筆者の理解・説明能力限界と紙面限界を超えており、割愛します。

（大和さくら会 重永）

### ◇NPO 法人じんかれん 50 周年記念大会アンケート

大会参加者 273名、アンケート回答者 94名

糸川先生の講演感想

式町さんのコンサート感想

<ul style="list-style-type: none"> <li>とても専門的な話を統合失調症への改善アプローチに巾広く取り組んでいることが良く分かりました。脳の外のバリアの解明が大切だということがわかりました。ありがとうございました。</li> </ul>	♪ 式町水晶って本名ですか、よい名前ですね ポジティブな思考は身体の動き（障害）をも変えるのか・・・糸川先生との話にもつながりますね。オリジナル曲「孤独の戦士」心に染みしました。生きづらさを抱えているからこそ、自分の人生に真摯にむきあえるのかと思いました。応援しています。
<ul style="list-style-type: none"> <li>レジメにそって、広く壮大な観点とミクロの世界から精神医学がまだ途上ということ、とてもわかりやすく、あつかっていることは深刻だけれど・・・明るい雰囲気の中で分かりやすかった。</li> </ul>	♪ 前向きな式町さんに勇気を頂きました。
<ul style="list-style-type: none"> <li>今まで薬だけで病を治すのではなく心や人との関わりで変わると思っていたので、同じことと確信しました。</li> </ul>	♪ トークもあり、とてもよかった。式町さんの笑顔が素敵でしたね。
<ul style="list-style-type: none"> <li>心について話された先生の言葉に大きな安心と希望が湧いてきます。ありがとうございます。</li> </ul>	♪ 生かされている、ありがたい、温かい世界につつまれて勇気と希望が湧いてきます。あつと言う間の幸せなひとときでした。
<ul style="list-style-type: none"> <li>「眼から鱗」のようなすばらしいお話で感激です。人は人として関わらないと人としてやっていけないことを改めて感じりました。</li> </ul>	♪ 病にも負けずに生き生きと活躍する姿にとっても勇気を頂きました。音楽はとてもすばらしかったです。
<ul style="list-style-type: none"> <li>上手な講演で、非常に心に残る内容でした。</li> </ul>	♪ 津波バイオリン、障害をいくつも克服して、健常者よりも優秀な人ですね。
<ul style="list-style-type: none"> <li>話しの内容はとても面白く勉強になりました。しかし精神病の本当の姿は、よけいにわからなくなりました。脳の病なのか？心の病なのか？</li> </ul>	♪ ヴァイオリンはすばらしかった。生き方、考え方がとてもよかった。心の病の方がこのような考え方生きかたをしたら幸せに生きられるのではないかと思われました。
<ul style="list-style-type: none"> <li>糸川先生の講演むずかしかったけれど、ビタミンB6の話、少しは役立つかな。</li> </ul>	♪ 心の視界を広げよう・・・の話感激
<ul style="list-style-type: none"> <li>内容はユニーク、再度聞いてみたい、面白かった。</li> </ul>	♪ 明るくて、強い気持ちがさわやかに伝わって来てよかった。
<ul style="list-style-type: none"> <li>少しむずかしいというところもあった気がしましたが何をいwnかなは解った気がしました。</li> </ul>	♪ 障害を乗り越えて、楽しい演奏、希望と感動、活躍を期待しております。
<ul style="list-style-type: none"> <li>チョット難しかった。DNAから統合失調症に効く、薬の開発を期待します。</li> </ul>	♪ ポジティブな気持ちを持ってすばらしい演奏ありがとうございました。努力の素晴らしさに拍手、拍手。

◎ とてもためになった講演でした。DNAの開発、未来に期待しています。	♪ 周りの環境が明るかったというのが心に残りました。
◎ 豊富なレジメに基づいて説明頂いた。膨大な資料により、多岐にわたりご説明頂きありがとうございました。講師は早口でお話いただいたので難解でした。	♪ とても素晴らしかったです。感動しました！トークも楽しくて良かったです。ありがとうございました。また聴ける機会があったら嬉しいです。
(内容も難しかった)結論をより明確により簡単にご説明頂きたかった。	♪ 障害のりこえて、楽しい演奏、希望と感動、活躍を期待します。
◎ 糸川先生の話は大変有意義な話でした。今までに聴かなかったお話を伺い自分の心の中に新たに生かされた心が生まれました。ありがとうございました。レベルの高いお話でした。	♪ 久しぶりに生の演奏を聴き、心がおだやかになりました。とても良いコンサートでした。作曲した曲とてもきれいな曲でした。式町さんのご病気に対して向かっていく考え方、努力に感動しました。人はその人の心がけで何でもできると思いました。
◎ 分かりやすい話でした。岡崎先生の「生活臨床」が参考になった。糸川先生のお母さんの話もうかがいたかった。	♪ とても良かった！式町さんのオリジナル曲は感動でした。思いがけずJAZZがきけて嬉しく思った。私JAZZが好きです。
◎ 医学の世界を知れてとても良かったです。ビタミンB6 開発を心待ちにしています。	♪ 講演で考えた後だけに心地良い音色に酔いました。
◎ すばらしいお話が聴けましてありがとうございました。なんだか心が明るくなるお話でした。日本民族のDNA、言語の特殊性、他を排斥しない融合性の根拠に感動しました。共生社会もできると思えました。今日のお話は皆に知らせたいです。	♪ 孤独の戦士も良かった。心のこもった温かい、包みこむような曲でした。プロとしてご活躍されることを心より祈念いたします。「いろんなところでまたお目にかかれますように。のびやかでとてもいい音でした、選曲にも心がこもっていた。みなさん喜んでいました。ピアニストの方もすてきでした。ボクシングもいいですね。背中がすてきでした。
◎ 糸川先生のお話に感銘を受けました。ありがとうございました。	
◎ 今まで聞いたことのない観点でとても有意義でした。勉強になりました。	♪ 不自由な体でも心の視野を広く持ち、何ごとにも前向きに生活されているご様子！これからもお元気に。
◎ 糸川先生の話はとても興味深く、また人柄が出る素敵な話、心のこと、病のこと。あらためて、何故薬だけ ではないのかを、学ばせて頂きました。	♪ 式町氏のバイオリンを弾かれましたきさつ等を聞きたかった。 ♪ 好青年。良かったです。
◎ 素晴らしい講演ありがとうございました。次回もこのような講師を招いてください。	♪ 楽しく勇気のでるお話とすばらしいバイオリンの音に心揺さぶられました。
◎ 素晴らしい講演でした。今後の家族会運動の参考にすべき内容がたくさん含まれていると思えました。	♪ 素敵な若者二人美しいメロディありがとう。お二人とも頑張りましょうね。歌わせてくださってありがとう。
◎ 今回の話の内容がわかるということは、気持ち良く生活が出来る事ですね。統合失調症は私たちにとって生きるのなぜかを答えてるすべてですね。とても良かったです。	♪ 心のなごむ曲を色々弾いてくださりとても楽しいひとときを過ごすことが出来ました。大変良かったです。又自分の体験とか話して下さい、明日から前向きに明るくプラス思考で過ごしたいと思えました。ありがとうございました。！！
◎ 科学、研究の心、先生の25年間の軌跡をのぞかせて	

<p>いただいたと思います。自分の頭、能力の限界をこえて て いましたが、研究を始められたきっかけ、情念、思 いは 著書でふれさせていたので、「研究」という営みの 厳しさを今回教えていただきました。</p>	<p>♪ 式町氏のヴァイオリン良かった。トークが良かった。 周りが明るく楽しく（家族含めて）なれる。 周りの家族の立場に気をつけて努力しようと思う。</p>
---	--

その他

☺	全体として非常に良い記念大会になったと思います。準備に携わった方々に敬意を表します。
☺	50周年おめでとうございます。長年のご尽力に敬意を表します。
☺	当事者の参加が少ないようですね。ご家族のご苦労も大変なんでしょうが、当事者さんが気軽に参加出来る工夫が必要と思います。講演もコンサートも当事者に聴かせたい内容と思いました。
☺	事前の注意にかかわらず、携帯電話のマナーを守らない人がいるのは残念。
☺	とても良い催しでした。継続は力なりです。
☺	じんかれん 50 周年、先輩方の築いてきた 50 年を思い、感謝の気持ちです。
☺	知事も参加され、盛大な記念大会でした。おめでとうございます。
☺	帰りが遅くなるので時間的な配慮をお願いします。
☺	駅出口にポスターを持ち立って待っていてくださった方のおかげで道に迷う事もなくスムーズにこれたことを感謝します。
☺	質問の時間がなくて残念。

◆みんなねっと全国三重大会に参加して

第 9 回全国精神保健福祉家族大会 希望が三重～る

みんなねっと三重大会参加報告

2016 年 10 月 27 日、28 日の 2 日間に渡り三重県総合文化センターで行われた全国大会には

全国から、1,250 名と多くの家族、当事者、関係者、支援者が集まり熱気あふれる大会でした。

《基調講演：「誰でもわかる認知行動療法」について》

近年精神医療の現場で注目されている認知療法の日本における第一人者で、諸学会の要職を務める大野裕氏による講演で、認知行動療法の意義と進め方、ストレス対処の基本等の講演でした。認知行動療法はつらくなったときに少し立ち止まり、そのときに頭に浮かんでいる自動思考を現実にとった柔軟なバランスのよい新しい考えに変えていくことで、その時々を感じるストレスを和らげる方法を学ぶことができます。そして楽な気持ちでもっと自分らしく生きられる可能性がでてきます。

ストレスを感じると私たちは悲観的に考えがちになって、問題を解決できないこの状態に追い込んでいますが、認知療法では、そうした考え方のバランスをとってストレスに上手に対応できるこの状態を作っていきます。

### 《記念講演：「精神科アウトリーチ」について》

現在各地で精神医療のスタイルを「入院偏重主義」から「生活の場での援助」に切り替えることを目指したアウトリーチの取り組みが行われていますが、今回の講演は最も積極的に取り組んでいる千葉県 千葉大学医学研究院特任教授 渡邊博幸氏によるアウトリーチの仕組みづくり、現在取り組んでいる新しいアウトリーチ支援について、我が国のアウトリーチの現状と課題についての講演でした。アウトリーチは支援を必要としているのに ①自ら求めることができない人 ②求めようとしない人 ③求めても既存のシステムには届かない人 に、その人たちの生活の場に出向いて支援や助言を提供することです。その対象となる人達は ●精神症状のために生活に支障を来している。 ●外出が困難になり引きこもり状態に陥っている。 ●症状コントロールがうまくいかず不本意な入院を繰り返している。 ● 自ら医療・福祉・行政サービスを受けることができないでいる (拒絶・情報不足・環境不備・貧困) これらの取り組みを進めるにあたって幾つかの問題点がある。

- ◎チームは上下関係でなく、当事者が一番信頼している人がチームリーダーとなるのが望ましい
- ◎出来るだけ多職種の支援者がチームに参加する。総括的な支援があって初めて成功する。
- ◎メンバー同士の信頼関係がないと続かない。
- ◎一日 4～5 件を回らないと採算が取れない。
- ◎家庭に踏み込みすぎない (家の前に病院名の入った車を止めたり、白衣を来たりしない)

(纏め 三富)

### 第 3 分科会 安心して暮らせる社会を目指して

～障害者差別解消法 これからを対話しよう～三重大学医学部精神看護学教授・片岡三佳氏をコーディネータとして、法・行政の視点から脇田愉司氏 (津市立三重短期大学講師)、当事者の視点から広野ゆい氏 (発達障害をもつ大人の会)、家族の視点から堀場洋二氏 (名古屋市精神障害者家族会連合会相談役) の 3 氏が話題提供者として、今年 4 月から「障害者差別解消法」が施行された

ものの、実際のところ精神障害者を取り巻く現状はどのようなものか、今を暮らしている中で、何を求め、何が課題なのか、多様な視点から掘り下げ、法律や制度が変化し続ける中、「誰もが安心して暮らせる社会にするために」これからの生活を語り合う分科会、会場は 160 名の参加者で一杯となり質疑応答では大いに盛り上がりました。

脇田愉司氏

差別解消法が目指すもの⇒共生社会の実現

差別解消法には個人をどうするという罰則規定はない差別というものが具体的に何なのか、どうすることが必要な合理的配慮なのか、配慮のコストを誰がどれだけ負担するのかなど非常に重要な問題を提起しており、社会全体で考えるべき課題である。

広野ゆい氏

広野氏は自らも発達障害をもつ当事者でありながら、ニート引きこもりの方たちへの就労支援に携わっておられ、精神(発達)障害者に対し、実践されている合理的配慮について 4 点語られた。

堀場洋二氏

精神障害者と家族が余儀なくされてきた偏見・差別の苦渋の歴史に終止符を打とう！障害者差別解消法が施行されたが、今改善されたのか、今も変わっていないのではないか、スタートしたばかりであり、いかにこの法律を動かすのかは私たちに課せられている。

- 賃貸契約書における精神障害者入居差別条項
- 地方自治体での「差別解消条例」制定の必要性
- 本人と家族及び家族の対応(家族会及び家族相談に寄せられる差別相談)

#### 参加者との質疑応答(9 件ほどありましたが、その中の 2 件紹介)

- 精神障者への医療費助成や交通運賃割引は差別解消になるのか？  
➡法の対象には直ちにはできないのではないかと、どこまでが差別か差別の定義がない、今後議論を積み上げていく必要があります。(脇田氏)
- JR 北海道は赤字会社であり交通運賃割引はできない、国に要求してください。➡金がないとか、財政問題を言われるが、私たち全国の家族会は「障害者間格差」差別の是正をお願いしている。障害者差別解消法が施行された流れの中で、精神障害者を対象から除外はできない。格差是正に向け実現まで声を挙げ続け、ひるむことなく前進していきましょう。(堀場氏)

(纏め堤)

## 研修会報告

平成 28 年度精神障害者家族相談員養成事業第 III 回

◆「家族は家族である前に 自らの人生の主人公 ～私自身のこれまでの追体験を通して～

講師： 日本福祉大学教授 青木 聖久氏

平成 28 年 10 月 7 日(金) 13:00~15:30 アミューあつぎで行われた講演会には 86 名の参加者がありました。(内訳:家族 70 名 当事者 1 名 関係者 4 名 一般 11 名)

青木先生は日本福祉大学を卒業後精神保健福祉分野のソーシャルワーカー(P S W)として岡山、神戸の精神科病院に 14 年間、兵庫県内の作業所の所長として 4 年間(電話相談を兼任)勤務、現在は母校で教授として教鞭をとっておられます。その傍らみんなねっと理事や厚労省の障害年金検討委員として、障害者の立場から意見を具申しておられます。これほど現場に精通された大学教授は稀有で、豊富な知識と現場での実体験をおりませたお話は我々家族に勇気と元気を与えてくれま

した。日本では家族の中の誰かが精神疾患を発症するとその家族は、自分の人生を犠牲にしても関わることを求められるような文化があります。しかし本人はそのような関わりを本当に求めているのでしょうか。「家族の生き方とは」、「幸せとは」。長年に亘って精神疾患の本人や家族に向き合ってきた先生のお話は笑いの中に非常に大切なことを考えさせてくれました。

### ◎家族ができること

- ・現状の本人を受け止める。　・家族自身が人生を楽しむ。　・開放的なかかわりを考える。
- ・色々な生き方や価値観を知る。　・社会の一員として自分を生かす。

### ◎家族同士がつながることの魅力と可能性（家族会の必要性）

- ①家族会員は、日々の生活問題を現実的に考え合える。
- ②家族は、家族会の活動を通して、社会へ声をあげる勇気が得られる。
- ③家族同士がつながることで、自分自身の意識の改革になる。
- ④家族会の定例会で、障害年金の話はいつものように出る。
- ⑤家族会という場があれば、「障害年金についての知らない不幸」を回避できる。
- ⑥障害年金の多様な情報を得ることで、受給についての、心の整理と決心ができる。

### ◎電話相談で感じたこと

母親からの相談で娘のことを見放すような、ひどく言う親がいたが、本心は、自分が如何に苦しみ、娘のことを思い、悩んできたかを吐露したいことだった。最初の言葉にこだわってはいけない

(まとめ:谷田川・三富)

- 主な感想
- ・大変分かりやすいお話で、先生の人へのやさしさを感じた。
  - ・「バトンを渡したくなる」というお話、私もバトンを渡したい。
  - ・家族に精神疾患の人を持ったから人生が豊かになったといえるように生きて行きたい。
  - ・大阪弁で笑いの中に深い深い内容のお話だった。他者の体験の中から多くを学ぶ姿勢を学んだ。
  - ・もう一度先生のお話を聞きたい。次は年金のお話を是非聞きたい。
  - ・人とのかかわりが自分を成長させてくれることが手にとるようにわかった。亡き後のサポーターのことも聞きたい。
  - ・これからの自分の道を教えて頂いた。
  - ・「この言葉に出会うために」のお話に感動した。本人の言葉を書き留めておこうと思う。
  - ・今日のお話は琴線に触れて涙が出た。
  - ・家族のあるべき姿を示していただき、勇気と温かさをいただいた良い講演でした。

平成 28 年度 精神障害者家族相談員養成事業 第 4 回

◆NPO 法人じんかれん研修会のお知らせ

体験発表

活動する私たち



精神疾患を患いながらも、社会の中でピア活動を行っている方々のお話を伺います。彼らの体験は私たちに何を示してくれるのでしょうか。是非 彼らの話をお聞きください。

日時 平成 29 年 2 月 13 日 (月) 13:00~15:30

会場 海老名市総合福祉会館 会議室

講師 尾山 篤史氏ほか 2 名

内容 体験発表「活動する私たち」 参加費 無料 申込 不要

問合わせ先: じんかれん事務所 (火・木 10:00~16:00)

電話 045-821-8796 FAX 045-821-8469



## 家族会よりのお知らせ

横須賀において精神科医夏苺郁子先生の講演会を開催致します。

「精神医療について思うこと」～当事者・家族・精神科医の 3 つの立場をから～

講師 医博・児童精神科医 夏苺郁子氏



開催日時: 平成 29 年 2 月 8 日 (水) 14 時~16 時

会場: 横須賀市総合福祉会館 5 階 ホール

定員: 450 名、入場料: 無料 事前申込みは不要です。直接会場へお越しください。

朝日新聞 (平成 28 年 9 月 7 日) の「本音の精神科医療」のインタビュー記事で紹介されました。静岡県焼津市で精神科医のご主人と「やきつべの径診療所を開業。10 歳の頃に母親が統合失調症を発病し、苦悩の毎日を送られました。ご両親の離婚と共に母親と別居されていたが、友人の仲介で再会。偶々漫画家の中村ユキさんを知り、母親の病気と正面から向き合う事を覚悟された。

「過去は変えられないが、考え方を変えれば、運命は、変われます」といわれ、患者・家族と医療、生身の人間として向き合い、各方面で講演されています。

・京急汐入駅より徒歩約 6 分、JR 横須賀駅より徒歩約 10 分 (バスあり本町 1 丁目下車)

主催: つばさの会、アメグスト、後援: 横須賀市、横須賀市社会福祉協議会

問合せ先: 046-845-6902 (アメグスト、平日、土、10 時~17 時半)

## KIVA 地図

### じんかれん家族相談ご案内

一人で悩まず、同じ悩みを持つ家族や専門の相談員に相談してみませんか

電話相談 毎水曜日 10 時~16 時  
☎ 045-821-8796

面接相談 第 3 水曜日 13 時~16 時 (要予約)  
KIVA こだま (伊勢原) にて  
秦野病院 山下看護師による面談  
予約受付; 火・木 10 時~16 時  
☎ 045-821-8796



